



## 見えないところにも…

図書館には、実は見えないところにしまってある資料がいっぱいあります。愛知県図書館では約 35 万冊の図書がおもての棚(図書館では「開架/かい」と呼んでいます)に並んでいますが、見えないところにある書庫(開架/へい)

か)にも約 60 万冊の図書があり、新聞や雑誌も 10 万冊以上が書庫におさめられています。館内の検索機やインターネットの蔵書検索では、図書館の所蔵する資料をさまざまな角度から調べることが出来るように工夫されています。調べてみると棚に出ていなくて見つからなかった資料が見つかるかもしれません。あきらめずに検索してみてください。

**書庫にあるのはどんな資料?** たとえば…出版された年が古いもの/よく使われて傷んでしまったもの/1年以上前の雑誌 など。その中でも、とっっても古い貴重な資料は、特別な「貴重書庫」という場所に入れてあります。



## 古い資料って役に立つの?

日々出版されては消えていく大量の本、次の号が発売されると書店からは姿を消す雑誌、毎日発行される新聞、私たちのまわりでは毎日たくさんの情報が生まれています。情報は新しいほどいい、って思っている人は多いでしょう。でも古い情報や蓄積された情報は実はとっても役に立つんです。新しいものと古いものを比べることで見えてくるものもたくさんあります。

たとえば…① あの頃のことが知りたい

●昔の新聞で調べよう!

古い時代の新聞は縮刷版・マイクロフィルム・CD-ROM などいろいろな形で保存されています。その時代を知る格好の資料。

●雑誌で調べよう!

週刊誌やグラフ誌と呼ばれる写真の多い雑誌には、時代の感覚がよく反映されます。流行のうつりかわりなどはファッション誌で。



### ●マイクロフィルム

大きな資料を縮小してフィルムに焼き付けたもの。専用の機械で拡大して利用します。



たとえば…② 文学作品くらべよみ(時代と共に変わる翻訳や表記)

古典文学や外国文学、同じ作品でも出版された時代や翻訳者によりずいぶん様子が変わります。読み比べてみると違いがよくわかります。お気に入りの訳や版を探してみてください!

(例) シェイクスピア「ハムレット」 こんな人が訳しています

坪内逍遙(1919)・小田島雄志(1980)・木下順二(1988)・松岡和子(1996) etc...

\* ( )内は愛知県図書館所蔵本の出版年